

東日本大震災の現状と  
復興への課題  
(ICT部門の立場から)  
(2011. 11. 11)

仙台市総務企画局情報政策課

# 1. 東日本大震災と阪神・淡路大震災との比較

(平成23年10月上旬)

	東日本大震災 (2011年)	阪神・淡路大震災 (1995年)
地震規模	M9.0	M7.3
津波による浸水面積	561km <sup>2</sup>	—
死者・行方不明者	約20,000名	6,434名
避難者数(最大)	約480,000名 (岩手・宮城・福島県のみ)	約317,000名
全壊・半壊家屋	約300,000棟	約249,000棟
被害額	約16兆9000億円	約9兆6000億円

# 2. 東日本大震災と宮城県沖地震との比較(仙台市)

(平成23年10月上旬)

	東日本大震災 (2011年)	宮城県沖地震 (1978年)
地震規模	M9.0	M7.4
津波による浸水面積	52km <sup>2</sup>	—
死者・行方不明者	730名	16名
避難者数(最大)	102,433名 (7月31日全避難所閉鎖)	1,574名
全壊・半壊家屋	82,560棟	4,385棟
被害額	約1兆300億円	2,100億円

# 3. 仙台市沿岸部の被害状況(1)

仙台港付近



仙台港

宮城野区蒲生付近



# 3. 仙台市沿岸部の被害状況(2)



宮城野区岡田付近



若林区荒浜



# 3. 仙台市沿岸部の被害状況(3)



太平洋沿岸部



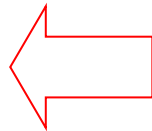
# 4. 仙台市の状況

## 南蒲生下水処理場平常時の様子

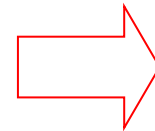
次葉の写真の視線



海側



陸側

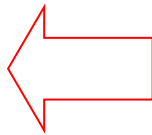


# 4. 仙台市の状況

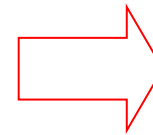
## 大震災当日の様子



海側



陸側





# 4. 1. 仙台市の情報システムの対応状況

## 4. 1. 1 業務用情報システムの状況

### (1) 震災直後

情報システム用のサーバには転倒などの被害なし。

停電がどこまで続くのか不明だったので、一旦、各システムをシャットダウン。

### (2) 3月13日

庁内LAN上で運用するグループウェアなどの運用を再開。

### (3) 3月17日

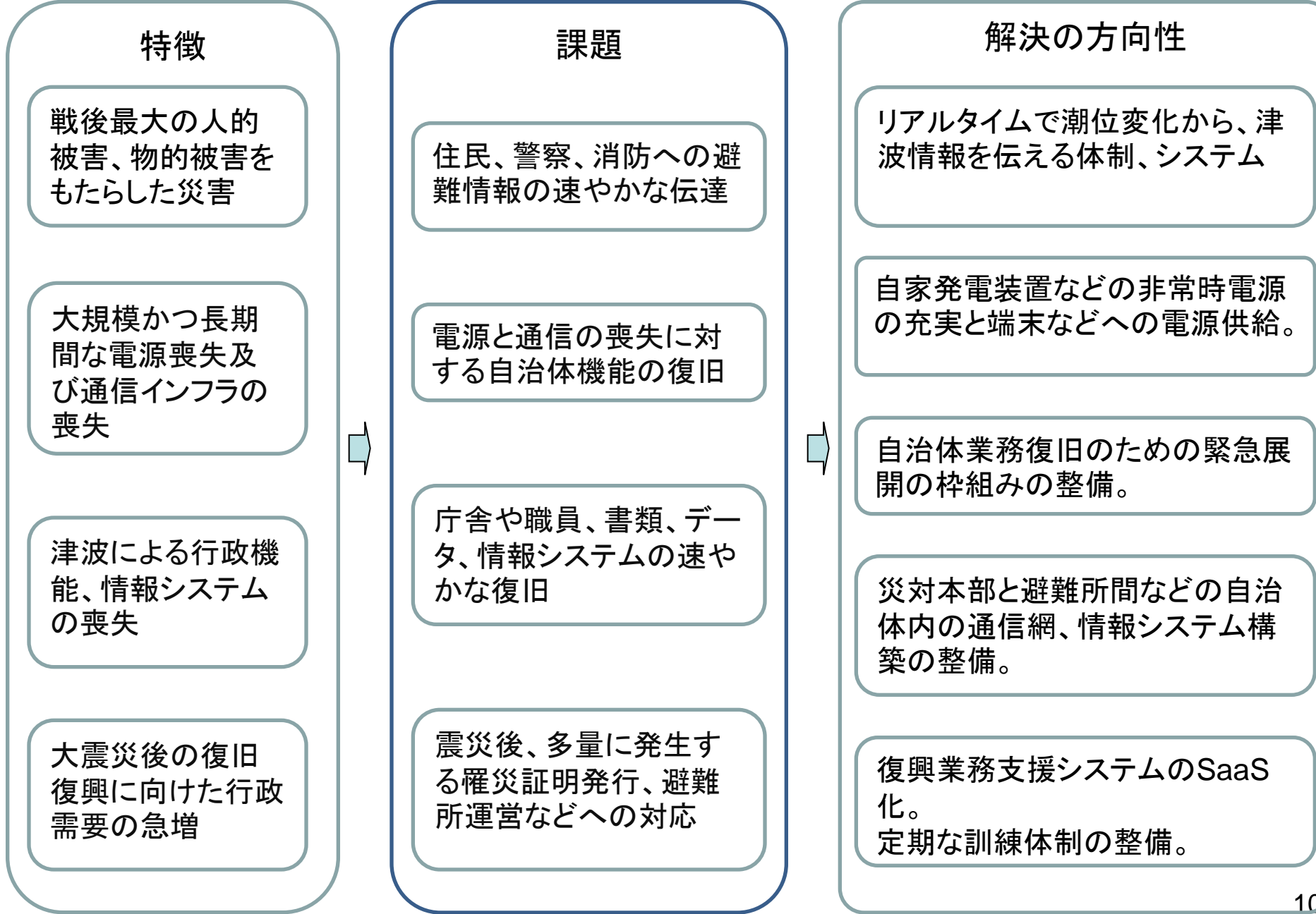
住民登録、税務業務用システムなどのオンラインサービスを順次再開。

## 4. 1. 2 仙台市公式ホームページ

(1) 震災直後、東京とのネットワークが不通状態となり、東京に仮サーバを立て、暫定サイトを立ち上げた。(3/11・22時)

(2) 3月15日ごろから、公式ホームページが復旧した。

# 5. 自治体ICTの側面から見た東日本大震災



# 6. 被災地住民の情報に対するニーズと課題

## (1) 安否情報

- ①災害に強いとされていた災害伝言ダイヤルやメールの信頼性は、最も必要とされる震災直後の1~2日間あまり高くなかった。  
→震災直後の災害伝言ダイヤルやメールのサービスレベルを明確にし、それに向けたサービス体制構築
- ②Google Person Finder、各県警のHP、新聞やTVの報道、自治体HPが活用された。  
→情報源ごとの情報が集約できる枠組みの構築

## (2) インフラの被害及び復旧状況の情報

- ①新聞やTVの報道及び、自治体HPや各事業者のHPが活用された。ガスの復旧情報により、HPアクセスが急増した例も
- ②信頼性のある正確な情報を、広く伝達するには、HPが有効。  
→震災時でも稼働し続けるHPの構築。  
→アクセス急増時におけるミラーサイトの活用  
→メール配信、エリアメールの活用

## (3) 生活情報

- 営業している店舗情報などに新聞やTVの報道が活用された。口コミやインターネットの情報が活用された。  
→信頼性のある正確な情報をどのようにして集め、伝達することが可能なのか

## (4) 行政情報

- ①生活再建支援、手続きに関する行政情報の伝達には、新聞やTVの報道及び自治体のHPが活用された。避難所においては資料の配布、情報の掲示など紙による情報提供が行われた。
- ②これらの情報を活用するには、面談または電話による相談業務が欠かせない。  
→情報提供と個別相談の充実。速やかな業務処理

## (5) 他地域避難者への情報提供

- 自治体HP、メール配信の活用、避難者情報システムの活用

## (6) 自治体復興計画

- 被災者への説明会、有識者による検討会議、自治体HPによる情報提供、パブリックコメントの実施による住民意向の反映と周知





この画面は、3月11日直後のものではありません。当時の画面のイメージです。

## 三陸沖を震源とする地震について (第3報)

平成23年3月11日18時00分現在  
仙台市災害対策本部

### 1 地震概要 (気象庁)

- ・発生日時 : 平成23年3月11日 14時46分ごろ
- ・震央地名 : 三陸沖 (北緯38.0度, 東経142.9度)
- ・震源の深さ : 約10km
- ・規模 : マグニチュード8.4 (推定)
- ・市内の震度 : 震度7 栗原市  
震度6強 宮城野区  
震度6弱 青葉区、若林区、泉区

この画面は、ホームページ復旧直後のものではありません。当時の画面のイメージです。

社の都 仙台市のホームページへようこそ

読み上げ

文字の大きさ

標準

大きく

さらに大きく

POWERED BY YAHOO!

検索



- ▶ [サイトマップ](#) ▶ [組織と業務](#) ▶ [相談窓口一覧](#) ▶ [よくある質問](#) ▶ [よく見られるページ](#)
- ▶ [English](#) ▶ [中文\(简体字\)](#) ▶ [中文\(繁体字\)](#) ▶ [한글](#) ▶ [Español](#) ▶ [Français](#)
- ▶ [Русский](#)

ともに、前へ 仙台  
東北地方太平洋沖地震に関する情報

市民向け情報

観光情報

事業者向け情報

緊急情報 余震が断続的に発生しています。十分にご注意ください。

防災・緊急情報

募集情報・行事予定

東北地方太平洋沖地震  
生活関連情報

被災された方々への  
各種支援制度

新着情報 (2011年04月01日現在)



- ▶ [市長記者会見\(4月1日\)を掲載しました](#)
- ▶ [「り災証明書」・「り災届出証明書」の申請を受け付けます](#)
- ▶ [健康増進センターの無料開放の中止と回数券の払い戻しについて](#)
- ▶ [平成22年度分市民税・県民税特別徴収税額の納期限の延長について](#)
- ▶ [被災者支援相談窓口を開業します](#)

▶ [一覧はこちら](#)

トピックス 仙台市から特にお知らせしたい情報です

- ▶ [東北地方太平洋沖地震により被災した軽自動車等に関する](#)

ライフイベント相談窓口一覧



妊娠・出産



子育て



教育



結婚・離婚



引っ越し  
・住まい



就職・退職



高齢者  
・介護



ご不幸

申請と届出



申請書・届出書ダウンロード



電子申請

くらしのガイド



くらしの安全・安心

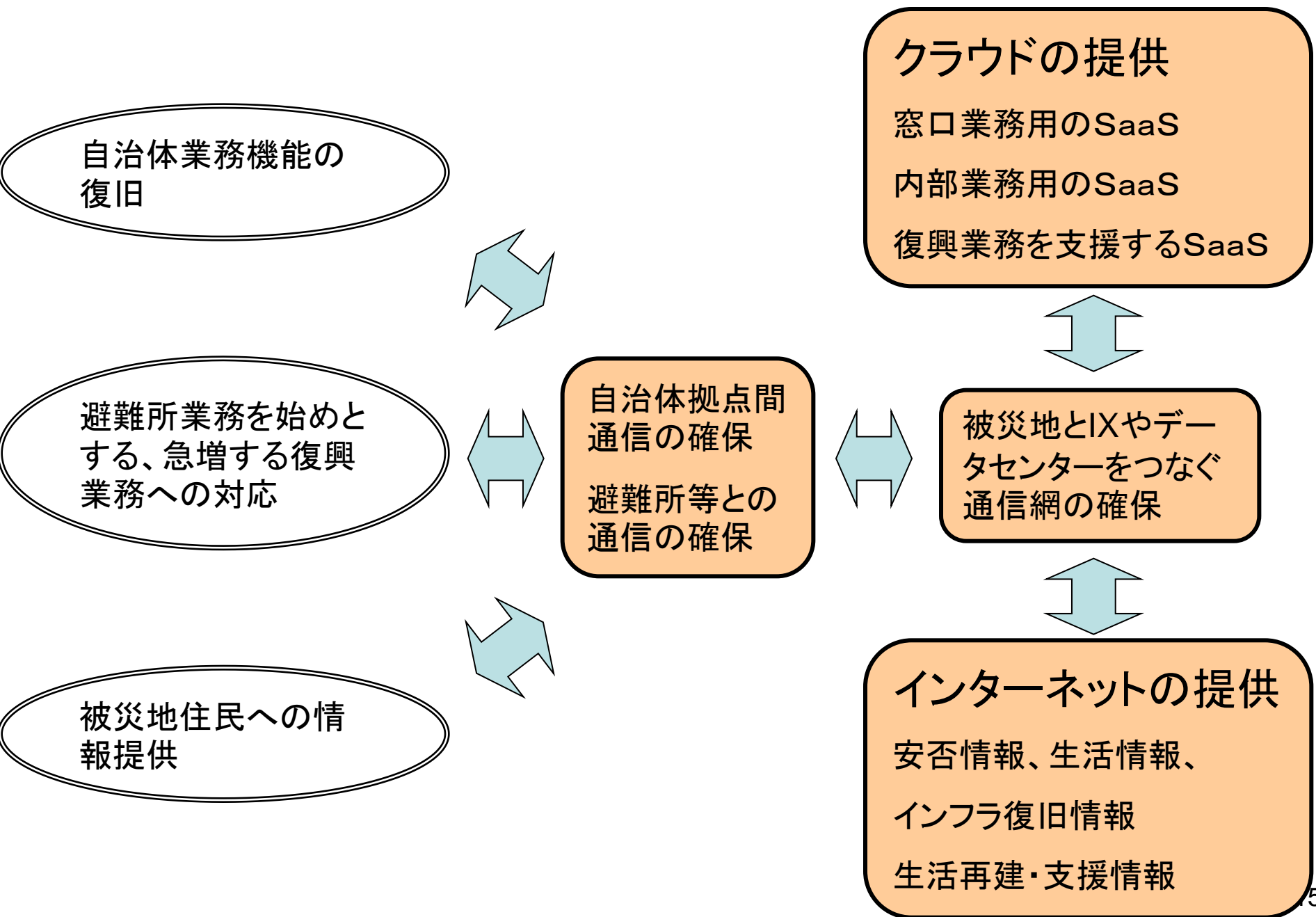
[消防・防災・災害対策](#) | [救急・休日当番医](#) | [防犯・交通安全](#) | [食品・生活衛生](#) | [安全・安心](#)



手続きと相談

[住民票・戸籍など](#) | [国民健康保険・国民年金](#) | [税金](#) |

# 7. 自治体及びISP等事業者に期待される役割



# 仙台市の広報活動におけるICT活用について

## 本市における広報についての考え方

- 広くあまねく、市民に情報を伝える。格差が生じないようにする。
- 効率良く、多くの市民に情報伝達できるメディアの利用を優先する。
- ICTの成果を活用する。

## 本市における広報の現状

既存の紙メディア、TV・ラジオ等の放送メディアだけでなく、インターネットのホームページなどの新しいメディアも活用している。

## インターネット利用の現状

- 国民の約8割がPCや携帯電話からインターネットを利用している。
- そのうち約半数の利用目的は、企業・政府等のホームページの閲覧となっている。
- Twitterの利用は数%。

## 今後の広報へのICT活用への認識と要望

- ICTを活用した、市民が利用し易い新しいメディアの積極的な活用。
- 携帯の普及状況や、緊急時に効率よく多くの市民に情報伝達できる点から、自治体から情報発信できる全ての事業者による緊急速報メール運用体制の整備を要望。